

令和6年度の新型コロナワクチン接種費用について

1 経過・目的

令和6年度の定期接種における新型コロナワクチンの標準的な接種費用については、令和5年12月時点で、国から7,000円として積算するよう各自治体に通知されていた。

その後、国がワクチンメーカー各社から定期接種用に供給するワクチンの希望小売価格を聴取したところ、価格が見直され、接種費用が15,300円程度となることが判明した。

定期接種対象者の負担増を避けるため、接種費用の超過部分（8,300円）について、国の助成金を活用し、費用を補填する。

2 令和6年度の接種費用の変更

	標準的な接種費用	積算	
		ワクチン価格	手技料
令和5年12月時点	7,000円	3,260円	3,740円
令和6年3月時点 (ワクチン価格見直し)	15,300円 程度	11,600円 程度	3,740円
超過差額	8,300円	➡ 国の助成金を活用して補填	

3 定期接種対象者の自己負担額（予定）

前回報告時（令和6年第1回定例会）から変更なし

○課税世帯の方…3,500円 ○生活保護受給・住民税非課税世帯の方…無料

4 補正予算額（案）

歳入 245,680千円

歳出 245,680千円

5 今後の予定

令和6年 秋以降 定期接種開始

【参考】令和6年度の新型コロナワクチン接種概要

定期接種概要	
対象者・人数	① 65歳以上の高齢者（約45,000人） ② 60～64歳の慢性高度心・腎・呼吸器機能不全者等（約100人） ➤ 季節性インフルエンザの定期接種対象者と同様
接種回数・時期	年1回、秋冬を想定
接種費用	前回報告時点 (令和6年2月末) 7,000円
	今回 15,300円（予定）
自己負担額 (予定)	○課税世帯の方…3,500円 ○生活保護受給世帯・住民税非課税世帯の方…無料 ➤ 接種費用と自己負担額の差額を区が負担する。
接種場所	原則、区内 ※区外での接種については調整中
使用するワクチン	流行の主流であるウイルスの状況やワクチンの有効性等の科学的知見を踏まえて、当面の間、毎年見直す。

※定期接種の対象者以外であっても、任意接種として自費で接種可能。